



第114号

平成28年8月1日

のぎ町議会だより



～グランドオープンで賑わう煉瓦窯～

- 6 月 定 例 会 … ② ～ ④
- 一 般 質 問 … ⑤ ～ ⑬
- 閉会中の議会活動 … ⑬
- 賛否の分かれた案件 … ⑭

編集発行 野木町議会 議会だより編集委員会

〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571

☎0280(57)4106 (FAX) (57)4190

E-mail : gikaijimukyoku@town.nogi.lg.jp



平成28年 6 月 定 例 会



6月定例会は、6月7日から6月14日までの会期で開かれました。

定例会には次の10案件が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

条例制定案件1件、補正予算2件、財産処分案件1件、規約変更案件1件、人事案件2件、専決処分事項の承認案件3件。

また、陳情1件について、総務経済常任委員会の審査結果を受けて、本会議で採決を行った結果、不採択としました。



条例の制定

野木町個人番号カードの利用に関する条例

―賛成多数で可決―

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の規定により、個人番号カードの独自利用（住民票の写しや印鑑証明書の発行業務）を行うため、本条例を制定する。

町有財産の処分

―全員賛成で可決―

野木東工業団地周辺新開山工業地区造成地の売り払い

- ・処分財産 土地（地目：雑種地及び山林）
- ・所在地 川田字新開山51番地6他
- ・地積 2万4439㎡
- ・処分方法 売払い
- ・売却価格 3億7391万円

補正予算

一般会計（第1号）

―全員賛成で可決―

予算に484万4千円を追加し、総額を79億7484万4千円とする。

これは、熊本地震への支援に伴う災害対策費の増（277万円）、児童保育事業に係る一時預かり事業費の増（147万円）、市民活動推進事業の増（144万円）、町有財産管理事業における用地買収費の増（88万円）、開発推進事業における工事請負費の増（67万円）のほか、野木東工業団地周辺開発事業特別会計繰出金の減（239万円）が主な理由である。

野木東工業団地周辺開発事業特別会計（第1号）

―全員賛成で可決―

予算に3億5782万1千円を追加し、総額を3億8612万7千円とする。



空から眺めた野木東工業団地

これは、工業団地の用地売却により、開発当初の借入地方債を一括償還するため、公債費の元金償還額を増（3億3810万円）し、かつ一般会計からの繰入金等を精算するため、他会計繰出金を増（1980万円）することが主な理由である。

規約の変更

栃木県南公設地方卸売市場事務組合規約の変更

―全員賛成で可決―

栃木県南公設地方卸売市場を民営化するにあたり、関係地方公共団体と協議をするため、当該事務組合規約を変更する。

人事

教育委員会委員

―全員賛成で同意―

○福島利昭氏（再任）
南赤塚1855番地4

政治倫理審査会委員

―全員賛成で同意―

○寶示戸英夫氏（新任）
佐川野1414番地1

専決処分の承認

野木町税条例等

野木町国民健康保険税条例

―全員賛成で承認―

「地方税法」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するにあたり、緊急性を要するため、町長が専決処分した旨の報告を承認。

行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正

―全員賛成で承認―

「行政不服審査法」の全部改正に伴い、地方税法との整合性を図るため本条例を一部改正するにあたり、緊急性を要するため、町長が専決処分した旨の報告を承認。

報告

平成27年度野木町繰越明許費繰越計算書

―全員賛成で可決―

3月定例会で可決した補正予算（第7号）において平成28年度に繰り越して使用できる経費（繰越明許費）の計算報告書。

「一般会計」

・地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業（3740万円）
・臨時福祉給付金給付事業（6102万円）

・潤島63号線道路新設事業（1620万円）
・防災行政無線整備事業（5936万円）

・野木中学校武道館天井落下防止対策事業（3767万円）
・その他8事業（2734万円）
繰越総額 2億3899万5千円

「公共下水道事業特別会計」
・浸水対策施設維持管理事業
繰越総額 302万4千円

専決処分子項の報告

・野木地内（松原自然の森）の樹木の枝が隣接するアパートの軒下を傷付けた事故
損害賠償額 7万8840円

・南赤塚地内（赤塚ふれあい公園）における樹木倒木による車の損傷事故
損害賠償額 28万6062円

平成27年度公益財団法人野木町施設振興事業団事業報告書並びに収支決算書

平成28年度公益財団法人野木町施設振興事業団事業計画書並びに収支予算書

「地方自治法」第243条の3第2項の規程に基づき、町の出資団体である当該事業団の平成27年度における事業実績と収支決算報告、平成28年度に係る事業計画と収支予算書が報告された。

陳情

総務経済常任委員会で審査し不採択となったものの採決

「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書

―賛成少数で不採択―

既存の「川の日（7/7）」を国民の祝日とすることを国などへ求める意見書の提出を求めた陳情で、総務経済常任委員会の審査で不採択となり、本会議で採決した結果、陳情への賛成少数により不採択となった。





問う！

一般質問

一般質問一覧表

日程	質問者	質問の要旨
6/7	小杉 史朗	1. 教育委員会制度の改正について
	小泉 良一	1. 危機管理とリスク管理について
	坂口 進治	1. 学童及び小学校・中学校施設の安全・安心の取り組みについて
	柿沼 守	1. 予算について 2. 選挙について
	野本 新一	1. 「生命・財産を守るまちづくり」について 2. 「快適で住みよいまちづくり」について
6/8	折原 勝夫	1. 少子化対策としての婚活応援について 2. 来庁者のための庁舎内外の利用環境の整備について
	宮崎 美知子	1. 学校におけるいじめ・不登校について 2. 子ども観・子ども像について
	針谷 武夫	1. 友沼橋について 2. 市街化区域の中の農地について 3. 平地林について
	松本 光司	1. 子育て対策について 2. 地域公共交通網の整備について
6/9	黒川 広	1. 若い世代の移住・定住促進について 2. 学校教育について
	鈴木 孝昌	1. 災害時避難所について 2. 18歳選挙権について

(説明員)

町長・真瀬宏子 副町長・舘野本嗣 教育長・中野晴永
 総合政策部長・老沼和男 町民生活部長・伏木富男 産業建設部長・舘野正文
 会計管理者兼会計課長・栗田幸一 総務課長・寺内由一 政策課長・宝示戸浩
 税務課長・山中 修 住民課長・黒須勝美 健康福祉課長・田村俊輔
 生活環境課長・石渡 真 産業課長・酒井浩章 都市整備課長・上原善一
 上下水道課長・町田 功 こども教育課長・田村君恵 生涯学習課長・赤坂孝夫

※ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものをもとに、編集しました。



こすぎ しろう 議員
小杉 史朗 議員

問

教育委員会の制度改正に町長はいかに応えるのか

答

教育行政の最終責任者としての自覚をもって臨みたい

今般、教育法の改正

に伴い教育委員会制度が大きく様変わりする。改正のねらいは、

1. 責任の所存を明確

にすべく教育委員長を廃止し、かつ教育長を首長が直接任命すると改めた点。

2. 首長が教育行政に
関与できるよう総合教育会議（首長と教育委員会とで構成）の設置を命じた点。

3. 総合教育会議の場で「教育に関する施策の大綱」の策定を義務付けた点、この3項目に集約される。

町長はこの改正にどう向き合っていくかを

尋ねる。

問 総合教育会議を通し、教育全般を統括する町長の心構えを伺う。

えを伺う。

町長

総合教育会議の設置は、新制度の目玉であり、従来の制度では直接私が教育に対する思いや基本姿勢を述べることはなかったが、これからはこの会議の中で私の考え方を示して、町の教育の根幹に係わっていくつもりだ。

ともあれ人間性尊重という理念のもと、教育委員としっかり協議しながら進めていく。

問 総合教育会議と教育委員会会議の相違点は何か。

町長

総合教育会議は私が招集する会議であり、先ずは私の考える理念のもとに教育大綱を策定する場であると認識する。更には町の大きな制度改革や多額の予算を伴う施設整備等について私の意見を示し、かつ委員からの提言を真摯に受け止め、教育行政の大枠を決める場でもあると心得る。

一方、教育委員会会議は、教育大綱に基づき、具体的な目標・方法を協議・決定することを目指す。

一方、教育委員会会議は、教育大綱に基づき、具体的な目標・方法を協議・決定することを目指す。

とを旨とし、この点は従来と変わらない。

ただし、新制度では、教育長は委員から外れ、純然たる教育行政の執行者となるので、委員はその執行について、暴走や変更がないかをチェックする役割を担うことと相成る。

今回の議論で町長の教育に対する熱い思い、言い換えれば「理念」がストレートに伝わってきた。

問

しかし、残念ながら大綱の中では、町長のこの理念が活かされていない。

そもそも教育理念と教育振興策が混同して

いるからではないのか。くどいようだが、教育大綱とは、いわば我が町の教育上の憲法に相当し、極めて大事なスタートまでにはまだ時間がある。この際、見直してはどうか。

町長

私の教育理念が大綱に反映されていないとの指摘については、これからの研究課題としたい。



教育委員会制度の改正による効果に期待



町消防団の夏季点検風景

問 大雨時の冠水管
所については

町長 各自治会長、小・中学校の協力で道路冠水状況調査を実施する。道路冠水マップを作成、各戸に配布予定。

問 避難場所と非常
用備蓄水・食料
について

町長 各小・中学校及び町体育センター、老人福祉センターの9ヶ所ですが、豪雨災害後見直し中である。備蓄水・食料は、約3百人の3日分を備蓄している。

問 井戸水の
水質検査
について

町長 個人の所有の井戸は、個人で管理するのが原則である。

町長 町には、災害用井戸としての位置づけはないが、役場敷地内にある井戸を災害時に利用できるように対応していきたい。民間の協力井戸は、

問 災害用井戸、民
間の協力井戸に
ついては

町長 個人で栃木県県南無健康福祉センター栃木県食品衛生協会小山支部に持ち込むことが困難な方のため、関係機関と調整、検討していきたい。今後、井戸水の水質検査については、町の広報等で紹介していきたいと考えている。

問 非常用電源につ
いては

町長 役場庁舎には、国の補助事業を活用し、太陽光発電設備と蓄電池設備を導入している。非常時には、本館2階、大会議室の一部の照明と災害時専用コンセントの電源として活用する事ができる。また、発電機も所有している。

問 防災行政無線・
その他の伝達方
法について

町長 現在は、友沼、川西地区に2基、新橋小学校及び消防野木分署にそれぞれ1基ずつ整備している。今後は、消防団機械器具置き場6ヶ所に、モーターサイレンつきの防災行政無線を設置する。消防団のポンプ自動車などによる広報活動やホームページにより防災情報をお知らせする。

また、携帯電話での緊急速報メールや野木町防災だより等を活用していきたいと思っている。



今後の防災対策に期待



こいずみ りょういち
小泉 良一 議員

問

答

危機管理とリスク管理について 防災減災の備え・水道関係・電気関係について伺う

防災減災の備えについて、道路関係は、町民や警察と消防の協力で迅速に対応していく



さかぐち しんじ
坂口 進治 議員

問

不登校児童・生徒の人数と原因について

答

5月現在小学校2名・中学校7名の不登校生徒がいる、いじめが原因としているものもある

問 不登校生徒の人数と原因及び、今後の指導と対策について。

町長 全くいないことが望ましいが、5月現在、小学校2名・中学校7名の生徒がいる。

教育長 原因として、学校生活上の影響でいじめや嫌がらせをする子供の存在、教職員との人間関係、遊ぶためや非行グループに入り登校しない、無気力で登校しない、情緒的混乱型など。又、意図的な拒否型で家庭を含め学校に行く意義を認めない。

多いのが複合型である。今後の指導と対策は、不登校を生まない早期発見、早期対応に尽きる。

いじめなど学校生活上の理由で不登校になっている児童・生徒については、

本人が一番つらい思いをしている。本当に申し訳なく思っている。カウンセラー、学校関係の総力を挙げ本人のケアに努め、心の傷を癒し復帰できるように指示し



通学路の安全対策のさらなる充実を望む

た。また、早期発見には、教職員の子供理解能力、適切な対応能力、そしてチームとして対応できる学校の体制づくり、いじめ、不登校ゼロを目指して、教職員研修など整備する。

問 小・中学校の通学路の現状と危険箇所の改善策について。

町長 通学路の安全対策については最優先課題と考えている、危険箇所について合同点検をし、小・中学校通学安全推進会議において改善策の検討をしている。

現在、南赤塚小学校東側道路歩道拡幅工事と松原踏切の拡幅歩道設置について重点対策を講じている、さらに交通指導員、下校時のスクールガードの見守り協力での安全確保をしている、子供は町の宝と考えているので、

注意していく。

問 新橋小学校の通学路の松原踏切と同じ状況で間々田飯田踏切は拡幅工事をしてるが、野木町はできないのか。

課整備部 一体的な踏切で考えている。警察の許可が完了し、地権者の内諾をいただいている。地元説明会は7月の開催を考えている。

問 小・中学校の避難所としての役割と管理について。

町長 現在避難所運営マニュアルを作成している、今後、学校職員と会議を重ね、

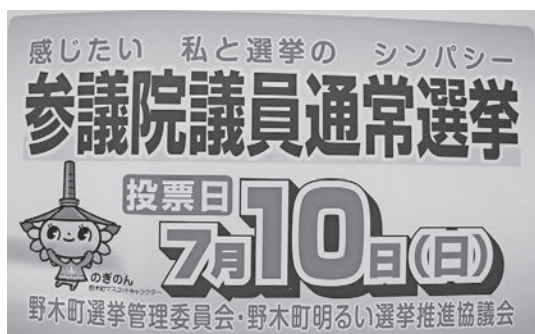
運営がスムーズに図れるよう努めていく。

課総務 大雨の時、野木二中で鍵がなく迷惑をかけた。対策として消防交通係が持つている。

次教育長 29年1月29日に全町的な避難訓練を行う。



工事が完了した間々田駅南側の飯田踏切



参議院議員選挙の啓発で使用したポスター

問 選挙について、投票・開票の改善について伺う。

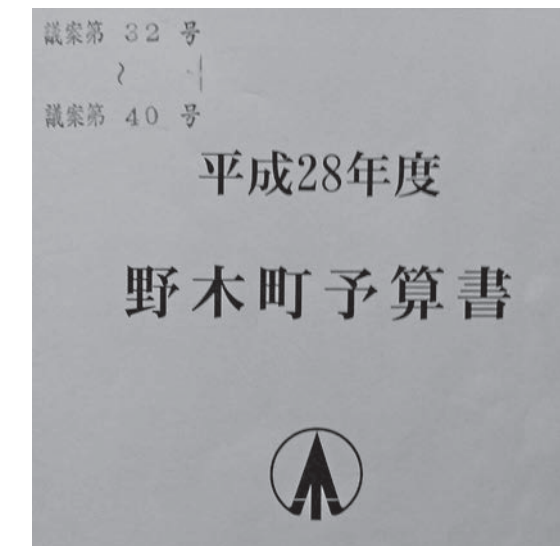
また、選挙公報の新聞折り込みを行い、各家庭に配布し、有権者への広報、周知活動の充実に努めている。

総務課長 これは国政選挙なので、交付金分についてのみ予算化するという場合もある。市町村のおおの

野木町は法律に基づき投票所数や選挙人数をもとに算出配賦されている、国の支出金で足らなくて、町の税金655万円を予算化しているが何故か。

答 野木町の投票時間においては、公職選挙法で定められた、現状の時間で設定しておきたい。

考え方により、交付金分では足りないというような形で一般財源を記入する場合である。



予算書の改良について

町長 広報「のぎ」、町ホームページ等による選挙関係記事の掲載、広報車による投票日及び期日前投票の

周知の巡回、役場及び東西の駅前ロータリーでの懸垂幕の掲揚、役場等の公共施設やスーパー等での選挙啓発用ポケットテッシュの配賦等を行い、啓発に努めている。

28年度予算の参議院議員選挙費の予算額は1795万円で、その財源内訳は、国支出金1140万円、一般財源655万円である。小山市等他市町では一般財源は予算化されていない。

問 茂木町で、今年の参議院議員選挙より、投票締め切り時刻を午後6時に繰り上げ変更した。群馬県で99%、茨城県で80%、全国で35%が投票所の閉鎖時刻の繰り上げを実施している。投票締め切り時間の変更について。

答 十分に研究していきたい。

問 事業別の合計に枠が無く分かりにくい、アンダーラインで枠を作る事は何。質問の趣旨は理解している。良



かきぬま まもる 柿沼 守 議員

答

問

選挙の投票締め切り時刻を、午後6時に繰り上げる。投票締め切り時間の変更について。野木町の投票時間においては、公職選挙法で定められた、現状の時間で設定しておきたい。



のもと しんいち
野本 新一 議員

問

第8次野木町総合計画「キラリのぎプラン」における防災対策等について伺う

答

町と自主防災組織との連携、強化、災害ボランティアの活用、総力を挙げて減災に努めたい

問 昨年の反省に立ち、安全安心のまちづくりのための具体的な対応策と実践的な行動計画について伺う。

町長 これまでの教訓を生かし、災害時の心得や避難判断基準を記載したハザードマップを作成し、本年度中に配布する予定。県防災計画との整合性を図りながら、災害に強いまちづくりを進めたい。自主防災組織は、町内に4組織あり、順次設置する方向で支援していく予定。

平成29年1月29日に、全町避難訓練を実施する予定である。

問 本庁舎が損壊した場合、代替施設や職員体制をあらかじめ定めておく「業務継続計画（BCP）」の策定について、本町はどのようにしているのか。

総務課長 非常時優先業務を念頭に置き、業務の執行体制、対応手順について、必要な資源も含めて計画を今後検討するところである。

問 歯科医も含めた医療関係との災害協定はどのようになっているのか。

総務課長 医療機関を含めた協定は、個別に今のところ結んでいない。今、野木町と小山医師会の歯科の方に関して、協定の締結を検討しているところである。



枯れはじめた街路樹

総務課長 医療機関を含めた協定は、個別に今のところ結んでいない。今、野木町と小山医師会の歯科の方に関して、協定の締結を検討しているところである。

問 水と緑のまちづくりに基づいた、多世代が利用できる公園のリニューアルについて伺う。

町長 公園の多くは、老朽化が進んでおり、リニューアルの必要性は認識している。今後、「公園施設長寿命化計画」の中で、町民のニーズを反映させ、多世代が安心して遊べる公園の整備を考えていきたい。

問 街路樹について、交通安全との関係からも見直しを図る必要がある。その予定は。

都市整備課長 町では公園施設の長寿命化計画を来年度には策定し、遊具や植栽の基本、植栽の配置も少しずつ検討していきたいと考えている。小さいお子様から高齢者まで、皆さんが安心して遊べるような公園、それに向けたリニューアルの検討をやつていきたいと思う。

町長 街路樹の中には30年以上になる木もあり、枯れたり倒れたりする木も多くある。本年度中に、「街路樹管理適正化検討委員会」を設置し、環境美化に配慮した街路樹のあり方を検討していきたい。



草だらけの公園



婚活応援！

根を大きな相
合い傘に見立
てる。
その下の煉
瓦窯は16角形、
ほぼ円に近い
ことから円と
ご縁の縁をか
けて縁を結ぶ
とし、煉瓦窯を
縁結びのシン

町長 夢にあふれ、未
来に向かつてそ
のような縁結びの
パースポットに変えて
いければと思っている。
なんとか生かせるよう
に頑張りたい。

町長 一つの場所です
の日行われる催
し物がわかるものを本
館正面入口に設置する

問 庁舎内の催し物
案内について伺
う。
町長 現在、本館前に
一カ所あるが、
住民から見えてわかりや
すい場所に、かつ訪れ
る施設までの距離が遠
くならないように、今
後、より充実していく。



やさしい庁舎を！

問 町の婚活応援の
現状とその成果
について伺う。
町長 平成22年度から
年2回、野木町
での結婚・定住を促進
する「野木町若者出会

問 野木町煉瓦窯と
その周辺の資源
を生かした婚活応援プ
ランを提案する。
まず、煉瓦窯の大屋

あふれ、未
来に向かつてそ
のような縁結びの
パースポットに変えて
いければと思っている。
なんとか生かせるよう
に頑張りたい。

町長 建物配置図総合
案内板は、以前
設置されていたが、老
朽化の為撤去した経緯
がある。
今後、設置に向けて
検討していきたい。

問 庁舎敷地内のお
もいやり駐車ス
ペースの整備充実につ
いて伺う。
町長 現在、本館前に
一カ所あるが、
住民から見えてわかりや
すい場所に、かつ訪れ
る施設までの距離が遠
くならないように、今
後、より充実していく。

町長 この改修には、
大変経費も掛か
るので、今後、どのよ
うに設計できるか研究
していきたい。

少子化対策としての
婚活応援について



おりはら かつお 議員 折原 勝夫

答

問

少子化対策として今後行われる婚活応援は、どの
ようなものがあるか？

結婚・本町定住の支援をする「婚活マイスター制
度」について、調査研究を行っていききたい

来庁者のための庁舎
内外の利用環境の整備
について

方向で検討したい。
問 子ども連れ来庁
者のための環境
整備について伺う。
町長 小さいお子様連
れのために、お
むつ交換ベッドを置い
た授乳室を庁舎本館内
に本年度中に設置した
い。

問 冬場の季節風に
より閉鎖される
新館入口の強風対策に
ついて伺う。



今後のいじめ問題の解消を望む



みやざき み ち こ

宮崎美知子 議員

問

中学校のいじめ問題について

答

いじめは人権侵害 謝罪させ解決したとの認識も甘かった 今後は学校全体で取り組む

問 昨年、中学校でいじめ問題が起き、今年3月時点で一クラス中、被害者生徒を含め5人の生徒が不登校となっていることを知り驚いた。

いじめは人権侵害で

ある。当該中学校・教育委員会の対応はどうだったのか。今後の解決と不登校生徒への対応について質問する。質問二つ目として、現在、道徳教育の教科化がされようとしている。

野木町は、『子ども観』、『めざすべき子ども像』をどう考えているのか。

町長 いじめは絶対許されず、あつてはならない。子どもと町民が目ざすべき人間像

として、『教育大綱十カ条』がある。

教育長 いじめは決して許してはならないという強い認識をもっている。学校では必ずいじめはあるとの認識で、早期発見に努める。

現在、Q-Uテストを年2回実施しているが、すべてを把握も難しい。昨年度は小学校4件、中学校3件で、悪口、嫌がらせを繰り返す内容だった。今後は、いじめ・不登校対策を重点に据え、教職員の意識改革に全力で取り組む。

問 いじめは、『加害者』、面白がってみている『観衆』、見て見ぬふりしている『傍観者』、『被害者』の四層構造がある。子どもどうしが「ダメ」と言える人権感覚を育てることが一番重要である。

その四層構造の部分について今回の事案についても非常に弱いと感じている。また、一応謝らせ解決したというところで一件落着とする認識も甘く、学校に直接指導した。

問 学校は閉じるのではなく保護者にも知らせ、いじめは

ダメだと大人が一丸となるのが子どもへのメッセージとなる。子どもは信頼する人からしか学ばない。

全国で『学びの共同体』という学校改革が行われている。同僚性を持った教職員集団をつくることも子どもたちの学習意欲や共に学び合う仲間意識が強まるという。

茨城県牛久市が市立全校で実施している。

特に中学校では学級意識、学年意識が強くバリアが強い。今後は、情報を共有し学校全体で取り組む体制を作る。

次の指導要領では、一斉授業の弊害からアクティブラーニングが主流になっている。同僚性の問題では、ミドルリーダーの責任と役割も重視したい。

問 中学校教員は忙し。町予算で部活指導の特別指導教員をつける考えは。

教育長 学校のニーズを良く聞きながら、対応できる限り対応していければと思う。



国と修繕工事の協議を進めている友沼橋

問 市街化区域の農地がなぜ高額な固定資産税になるのか

町長 すぐに宅地として利用ができることから、潜在的価値を備えていると考えている。したがって、宅地としての

問 市街化区域の環境の整備で町内の各地域でかなりの差があるが。

町長 町では、各地域の実情を把握し、緊急性のあるものから整備を行っている。道路拡幅については、地権者の協力が得られないと出来ない。地域全体の課題として、ご理解を得ながら事業を進めて行きたい

町長 町民に潤いと安らぎを与える緑豊かな平地林は、町の重要な資源であると認識している。

産課長 元気な森づくりが、平成29年度で終了する予定。県に強く補助制度の継続を要望している。補助制度がなくなつた場合は、町単独で保全事業を考慮しており、当然予算等も伴つので、

産課長 平地林については、ほとんどが民有地であり、所有者も町内の方、町外の方もいる。その方々に対し平地林の必要性、貴重な資源であることを周知し



町の自然遺産と考える平地林保全の施策を問う

問 安全安心で長く利用できるための対策はどのように考えているか。

友沼橋については、今年度は、設計を基に国土交通省と

実際の工事の協議をし、来年度は修繕工事を行なう。今後は、5年に1回程度の点検を繰り返し、修繕、補修を随時やっていきたいと思う。

価格から造成費を引いた価格に基づき固定資産税を決定している。さらに、別に特例措置が加わり、決定した額の約3分の1の額が固定資産税となる。

問 町の自然遺産と考える平地林として、後世に残すために、今後町の取り組みとしてどのように考えているのか。

問 所有者に平地林の保全意識を高めるためにどのように考えているのか。

手法、保全の仕方、活用の仕方について十分に検討、研究していきたいと考えている。所有者に平地林の保全意識を高めるためにどのように考えている。



はりがや たけお 針谷 武夫 議員

問

答

友沼橋の長期的な利用のための対策は

野木町橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、長寿命化を図る



まつもと こうじ
松本 光司 議員

問

安心して子どもを産み育てられる、まちづくりについて

答

町独自の、ワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」の設置は、検討する

問 妊娠届時のアンケートの活用について。

町長 出産前に特に支援を必要と認められる妊婦の方を把握して、保健師が面接や訪問を実施している。

問 子どもの成長記録は、母子健康手帳で管理されている。予防接種忘れの防止は、どのように取り組んでいるのか。

町長 健康課 予防接種時に医療機関から、また乳幼児健診などで保健センターを利用時に声を掛けている。更に、担当者が電話で確認している。

問 現在の仕組みを電子化し、子供の生年月日から接種スケジュールが自動作成され、保護者のスマートフォンに接種時期をメールで知らせてくれる予防接種ナビや、健



野木町の母子健康手帳

診結果が自動的に記録される機能などを搭載した「電子母子手帳」の導入を提案するが、町の考えを伺う。

町長 民生部 導入済みの他市町村の例を参考に、子育て全般についての導入を研究する。将来的には、マイナンバーの個人番号カードを使った、町独自のシステム化も併せて考えたい。

問 子どもが、急な発熱37.5℃以上になると保育園では預かってもらえず、頼れる身内が近隣に居ない共働き家族の、仕事と子育ての両立を支援す

る「病児保育」の現状と課題について。

町長 病児型対応は、新小山市民病院が病児保育施設を開設し、利用が可能となった。病後児対応型は、今後の検討課題と考えている。

問 時代と共に家庭や地域の在り方が変化し、産前・産後ケアの母子支援を手厚くすることで、児童虐待や育児放棄の予防・早期発見の役割を果たす、総合的な相談支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置を提案するが、町の取り組みについて伺う。

町長 専門家の配置が必要になり、内容をよく研究し精査した上で町民が安心して子育てできる独自の体制を整え、ワンストップサービスができるよう設置の方向で、検討する。

町長 今年度から空き家対策協議会を設置し、空き家バンクの状況や特定空き家の認定などを議論していきたい。

問 今後、人口減少・高齢化による空き家問題は、防災・犯



スマートフォンを活用した記録管理



定住促進により活性化が期待される市街地エリア

問 移住・定住促進策は住まい、仕事、子育て、農業関係、まちづくりという多方面から捉えることができるが、説明のあった「住まいにかかわる促進策」に焦点を

問 定住促進策は住まい、仕事、子育て、農業関係、まちづくりという多方面から捉えることができるが、説明のあった「住まいにかかわる促進策」に焦点を

問 定住促進策は住まい、仕事、子育て、農業関係、まちづくりという多方面から捉えることができるが、説明のあった「住まいにかかわる促進策」に焦点を

問 定住促進策は住まい、仕事、子育て、農業関係、まちづくりという多方面から捉えることができるが、説明のあった「住まいにかかわる促進策」に焦点を



本町における小中一貫校の適否を問う

町長 定住促進策としては、住宅を取

得された方に対する定住促進補助金のほか入学祝い金、出産祝い金、こども医療費18歳までの無料化助成などを行っており、平成27年度に175人の定住人口増になった。

あて再質問する。全国を見れば、福井市のように定住促進ポータルサイトを開設するなど積極的に推進している市等はあるが、まずは最も競合が想定されるお隣の小山市に比肩した制度とすべきという視点から尋ねる。小山市の住まいにかかわる補助金制度を調べたことはあるか。

事業者が元請になり新築したとき、保留地に新築したとき、中心地区4カ所に新築したときに加算額を支給するなど工夫した制度設計になっているが、どのように考えるか。

町長 空き家対策等も含め総合的な視点から調査研究しながら取り組んでいきたい。

考えた新たな枠組みの制度であり、学校には一体型、併設型がある。実験段階であり検証を見極めながら今後、研究を進めていきたい。



くろかわ ひろし 黒川 広 議員

問 3世代同居・近居推進事業の導入など移住・定住促進補助金制度を見直すべきと考えるが

答 空き家対策等も含め総合的な視点から調査研究し取り組んでいく



すずき たかよし
鈴木 孝昌 議員

問

国が選挙制度を解説した副教材を全国の高校に配布したが、町内小中学生への活用は？

答

国・県から小中学校生向けの教材が示された段階で、取り組んで行きたい

問 様々な避難所問題の解決を図る

為に、指定基準枠を広げ、各自治会の集会所等を地域密着型避難所として指定していく考えは？

総務課長 心身の負担を強いられるのは事実である。町立でない為、可能を含め、今後考えていきたい。

問 観光客等地区外の避難者に資する為、標識の共通化・案内板の設置を指定項目に上げているが、今後の計画は？

総務課長 東電関連会社と避難場所等電柱看板に関する協定を結んでいるので、電柱を活用した広告看板に、取り組んで行く。

問 避難所の鍵の管理・備蓄品の保管は？

総務課長 大雨災害の教訓を踏まえ、鍵は保管管理をしている。備蓄品はスペースのある学校は完了している。無い学校は、簡易倉庫を設置していく。



町設置の備蓄倉庫

問 避難所運営マニュアル作成に

当り、開設前の避難者行動マニュアル作成の考えは？

総務課長 緊急行為が無い様、早急な人的体制を整え運営に努める。

問 学校施設を有効活用する為のマニュアル作成の考えは？

次教育課長 学校関係者と町で、それらの問題を話し合い、避難所運営マニュアル作成に取り組む。

問 避難所運営組織にPTA役員の活用は？

町長 PTAの方々は、ご自分のお子様の安全確保が、最優先である。その後の参加は、今後話し合っていく。

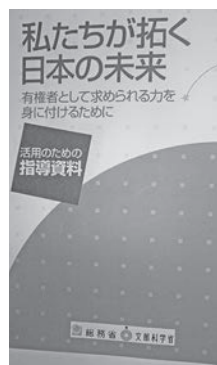
問 避難所の様々な問題解決の為に、避難所運営組織に女性消防団の活用は？

町長 女性の細やかな優しい気遣い。視点で、温かく対応する事は大変有意義である。6名の人数を増やし、団員の働きが輝きを増せば、避難所が和やかになる。今後、検討する。

問 副教材の活用の中で、通常の社会科授業の一環として、資料収集・テーマを自らが考え、2年生全員による子ども

も議会の実施を望む。議会側の体制は私の責任において適切な場所、館野議長・真瀬議会運営委員長に要望していく。まず、中学校授業計画の組み入れを考えて頂きたい。

教育課長 今後に向け、今年度中から学校に総合的な学習のテーマとして「選挙制度等について」を働きかけていきたい。



高校配布の副教材

閉会中の議会活動を紹介します

野木町議会では本会議（年間4回の定例会と随時開催の臨時会）のほか、議員全員協議会や各種委員会などの会議、研修会など、様々な活動を行っています。今回は、春先からの活動の一部を紹介します。



南赤塚の南部清掃センター視察



逆川排水機場内部の視察



野木町消防団夏季点検に参加



早朝の交通安全啓発活動に参加

がんばれ熊本！

野木町議会では、熊本地震の復興支援として、各議員からの募金（総額14万円）を5月26日に熊本県町村議会議長会あてに寄付をしました。

被害に遭われた方々へのお見舞いと、1日でも早く復興できることをご祈念申し上げます。

平成28年度議会報告会を開催します

本年度は10月30日（日）役場新館2階大会議室で開催致します。

昨年度の報告会では、多くの方々にご参加いただきありがとうございました。

今回は更に多くの方々にお越しいただき、議会情報の提供や皆さまとの意見交換を行いたいと思いますので、是非ともご家族やご近所の方、ご友人など、皆様お誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

※開催内容などの詳細は、あらためてご案内いたします。

各議案に対する賛否（議長を除く）

（賛否の分かれた案件のみ記載しています。他の案件は全員賛成で可決されました。）

議 案	宮崎美知子	眞瀬 薫正	小杉 史朗	長澤 晴男	柿沼 守	鈴木 孝昌	坂口 進治	黒川 広	折原 勝夫	野本 新一	松本 光司	針谷 武夫	小泉 良一	賛成	反対	採決結果
平成28年6月定例会																
野木町個人番号カードの利用に関する条例の制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	2	11	不採択

※表内の○は賛成、×は反対、△は離席による採決不参加

議会・議長のうごき

4月
2日
野木町春まつり
りんご保育園内覧会
3日
野木町消防団辞令交付式
8日
中学校入学式
交流センター・南赤塚小学校視察
11日
小学校入学式
議会運営委員会
議会全員協議会
15日
議会全員協議会
17日
思川排水機場・南部清掃センター視察
21日
野木東工業団地周辺新開山工業地区立地
希望申出企業現地審査
25日
島根県邑南町議会常任委員会連合審査
（先進地視察対応）
5月
2日
交通安全早朝街頭啓発活動
野渡橋開通式
10日
野木町レンガ窯グランドオープン記念式典
12日
小山市野木町消防事務連絡協議会定例会
議会全員協議会
17日
議会全員協議会
19日
議会運営委員会
23日
小山広域保健衛生組合第1期エネルギー
回収推進施設整備・運営事業建設工事火入式
27日
小山農業協同組合通常総代会
30日
全国町村議会議長・副議長研修会（30日）
交通安全早朝街頭啓発活動
6月
7日
第3回議会定例会（14日）
小山地区安全運転管理者協議会総会
17日
平成28年度第1回栃木県町村
議会議長会・研修会
24日
町消防団夏季点検・水防演習
第二4号国道古河・宇都宮間建設促進期成
同盟会総会
26日
野木・小山間道路整備促進協議会総会
27日



夏休みはみんなで煉瓦窯を見に行こう

お詫びと訂正
前号（第113号）において一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
②4ページ下段、会計別予算総括表内「野木東工業団地周辺開発事業特別会計」本年度予算額
（誤）3億2831万円
（正）← 2831万円

編集後記

新人議員が編集委員に就き、分かりやすい議会だよりを目指してきました。

議決案件や討論の内容確認、一般質問した議員が作成した原稿のチェックなど、限られた文字数で正確に伝える難しさが身に染み込んだ1年間でした。

特に、他市町のような映像配信がない我が町では、議会の要点を町民に正しく、広く発信する情報媒体が、この「議会だより」であり、本誌には真実を伝える重要な役目があります。

発言した部分的な言葉だけを列記したところで、前後の意味が説明されなければ、読者に誤解を与えてしまい、議論の真意が伝わってきません。

「木を見て森が見える」という文章表現の技量が問われます。

今後、我々編集員の新鮮な感覚が、鈍らないよう、お互いに切磋琢磨、工夫を凝らし、より正確に情報を伝達できるよう編集作業に取り組めます。

松本 光司

議会だより編集委員会

委員長 宮崎 美知子
副委員長 野本 新一
委員 小泉 良一
委員 針谷 武夫
委員 松本 光司
委員 折原 勝夫